

基本コンセプト(仮)ごとの機能例示 (委員会での検討を基に作成)

①町民に親しまれ、利用しやすい庁舎

- 接客や交付業務でのロボットの活用
- 1階に総合窓口を設置
- 一つの窓口でほぼ用事を済ませられる
- 窓口機能を集約し、利用者の動線を考慮した窓口の配置する
- 十分な広さの駐車場を確保する
- エレベーターを設置する
- バリアフリー等のユニバーサルデザインに配慮する
- 授乳室等が設けられている
- 車いす利用を考慮し、通路やフロアにゆとりがある
- 手続き中、子どもや高齢者を見守る事が出来るスペースがある
- プライバシーに配慮した安心な相談スペースを充実する
- おもいやり駐車スペースの整備
- 多機能トイレが充実している
- 待ち時間に子供が裸足で遊べるスペース
- 待ち時間に子供を高齢者ボランティアなどにみていてもらえるサービス
- 案内板や各部署表示の外国語表記
- 急病人対策として、産業医等の往診も受けられる急病室の設置
- 各出張所と機能的に接続されればよい
- 各種発行業務などのドライブスルーで行える機能の導入
- 各種発行業務などの専用アプリによる発行予約
- 銀行ATM、売店、憩いのスペース
- 駐車場の土日利用
- レストラン等の飲食スペースの設置

②災害に強く、防災の拠点となる庁舎

- 免震構造など、災害に強い庁舎とする
- 防災・復興拠点としての集約した機能を有している
- 災害時などに備えたバックアップ機能として自家発電装置などを有している
- 防災物資備蓄倉庫を設置する
- 防災ヘリの発着ができるスペース
- 救援車両・救護・避難所等の設営ができるスペース
- 待機職員の仮眠スペース
- 災害発生時の垂直避難を考慮した建物の高層化
- 災害発生時用に公衆電話を設置

- 待機職員等のシャワー室の設置
- 飲料水兼用の耐震性貯水槽の設置

③町民の活動・官民協働の拠点となる庁舎

- 町民が気軽に利用できる会議室や活動スペース
- 町民の活動報告を展示できるスペース

④多様化し変化する行政ニーズに柔軟に対応できる庁舎

- 組織機構の変化に柔軟に対応できる執務室構造
- ICTの進展など高度情報化に対応できるOAフロアの採用
- 書庫・倉庫の充実
- 機密情報やプライバシーの保護等セキュリティ機能強化
- 防犯カメラの設置
- 職員用の休憩室
- フリーWi-Fiの整備

⑤町づくりの拠点となる庁舎

- 地域活性化の拠点となる
- 公共交通を整備する
- 各種の情報コーナーを充実させる
- みぶブランド品や特産物を紹介し販売できるスペース
- 本町の歴史や文化を紹介できるスペース
- 本町の産業などの先進技術を紹介できるスペース

⑥議会活動を推進する庁舎

- 町民のニーズや利用しやすさに配慮した傍聴席
- 議場は議会の独立性を保つとともに、セキュリティの確保を考慮する

⑦環境に配慮した、効率的・経済的な庁舎

- LED照明の採用
- 再生可能エネルギーを取り入れること(太陽光発電、自然採光、雨水利用)
- 施設の長寿命化・設備の高効率化など、ライフサイクルコストを考慮する
- 省エネルギー配慮及び県産木材等を利用するなど環境対策を施す
- 電気自動車等用充電設備の設置